

八訂版

7/25/1929

布哇教育會編纂

日本語讀本

卷六



\* 印刷部に送るに付

X印は本館の補巻の巻名からとつたもの

もくろく

○第一課	みつばち	一	○第十三課	私のうち	五十四
○第二課	分業	四	○第十四課	住宅の美化	五十七
○第三課	コロンブスのアメリカ発見	七	○第十五課	青の洞門	六十一
○第四課	瀬戸内海	十五	○第十六課	招待状	六十九
○第五課	雨	十九	○第十七課	小さなねじ	七十
○第六課	乃木大将の幼年時代	二十一	○第十八課	パナマ運河	七十九
○第七課	銀行	二十六	○第十九課	燈臺守	八十五
○第八課	布哇から米大陸へ	二十九	○第二十課	ベンの繪筆 (一)	八十六
○第九課	忠實な水夫	三十二	○第二十一課	ベンの繪筆 (二)	九十一
○第十課	フランクリンの自立	四十一	○第二十二課	大阪	九十四
○第十一課	京都	四十四	○第二十三課	ウエリントンと少年	九十八
○第十二課	競馬	四十八	○第二十四課	祖先と家	百二

本館は『尋常小学校教科書』巻十

第二十五課	今日	百五	第三十八課	我は海の子	百五十九
第二十六課	ホノル、の名所	百七	第三十九課	加藤清正	百六十二
第二十七課	らくだ乗り	百十一	第四十課	小話	百七十一
第二十八課	時は金なり	百十六	第四十一課	コトワザ	百七十五
第二十九課	塩原多助	百十九	第四十二課	つじ音楽	百七十六
第三十課	南米から(父の通信)	百二十三	第四十三課	高等女學校に入學するについて 問合わせの手紙とその返事	百八十一
第三十一課	小石と金剛石	百二十九	第四十四課	勝安芳と西郷隆盛	百八十四
第三十二課	老砲手	百三十四	第四十五課	善良な市民	百九十三
第三十三課	動植物の改良	百三十九	第四十六課	布哇	百九十六
第三十四課	少年鼓手	百四十三		課外	
第三十五課	アレキサンドルと醫師	百四十九	一	燈臺守	一
第三十六課	×禮儀	百五十三	二	言にくい言葉	六
第三十七課	×太陽	百五十六	三	ウイリアム、テル	十

共 群

第一課 みつばち

みつばちにはおばち・めばち・働きばちの三種があつて、共同の生活をいとなんでいる。

一群の中、もつとも多いのは働きばちで、うちに居ては幼虫ようちゆうを育て、すを造り、外に出ては食物を集め、外敵をふせぐなど、内外すべての仕事にあたる。春夏花盛りの頃は、外役えきのはちは山野を飛びめぐつて、出ては歸り、歸つては出て、少しも休むことがない。すの入口に立番する強い働きばちは、一々その出入を調べて、みつを持歸らないものがあると、

つと用意した二の矢を見とがめて、  
 「その矢は何にするつもりか。それを聞かなければ、  
 許すことは出来ないぞ。」  
 と言った。

「外ではありません。射損じた時に、代官を一矢で射  
 殺すためです。」  
 と、テルは明らかに答えた。ゲツスラーは怒るまいこ  
 とか、直にテルを遠いごくやへ送った。がテルは運よ  
 くごくやからのがれて、ほどなく悪代官を自分の矢に  
 かけて射殺してしまった。その目ざましい働を見て、  
 スイツルの人民はたちまちどくりつの旗を挙げ、つ  
 いに自由幸福の國となつたのである。

(國語讀六)

昭和四年七月二十二日 刷  
 昭和四年七月二十五日 發行  
 昭和六年五月三十日 修正印刷發行  
 昭和八年七月一日 第五版發行

版權  
 所有

Copyright 1929  
 by Hawaii  
 Kyoikukai

編輯兼  
 發行者  
 法人  
 布哇教育會

印刷者  
 株式會社  
 帝國地方行政學會

東京市京橋區銀座西七丁目一番地

電話銀座 六六〇、六六一、六六二、六六三番  
 振替貯金口座東京一三番

Made in Japan